

令和4年5月19日

### 藤朋祭（文化祭）にかける3年生の想い

5月19日の昼に校長室のドアが緊張感とともにノックされた。  
3年生文化部所属の「K」君の来室でした。

来室理由は「3年生にとっては最初で最後の藤朋祭（文化祭）なので、あまり縮小した形でなく開催してほしい」というお願いでした。「実行委員会や生徒会だけでは準備や後片付けが大変であれば、いつも学校行事を運動部が手伝ってくれているように今回は自分たち文化部が手伝うことで解消したい。こういうときこそ自分たち文化部の出番だ」と。また、単なる想いだけではなく県南の他校の情報（本校のように制限のかかる学校も含めた）も収集した上でのお願いでした。

校長としては新型コロナの感染がまだ収まらず、クラスターの発生している学校があることやそのため各行事を縮小している（始業式、生徒総会の形態等）中では藤朋祭（文化祭）だけコロナ前の状態に戻すのは難しい。ただ、感染の状態が小康状態であることや本校での感染対策が十分行われていることを踏まえ、学年のダンス発表会の会場に学年全体が参加の形を取るなど昨年より一歩進んだ形である。また、3年生には学年内開催の催事としてミニ藤朋祭を成功させてほしいと伝えました。

勇気を持ってここに来た行動はたのもしく思う、しかし、藤高生として限られた器の中で充実したものにしてほしい、と説明すると理解してくれました。

校長室に来ることについて誰かと相談したのか訪ねると、「相談はしていないが、部活の仲間と話したときも同じ気持ちのようだったので。」とのことでした。

最後に「藤代高校に来てよかったか。」と聞いてみると「1年の時はあまり感じなかったが、今は藤代高校に来てよかったと思う。」と言ってドアを丁寧に閉めて帰って行きました。

「K」君の参加する活動の充実を期待するとともに、部活動の発表等があればじっくり見てみたい。